

14.

学術集会委員会

学術集会委員会の活動

田中 幸子

(大阪がん循環器病予防センター)

平成元年に研究発表会の実施に関する審議および指導を行うことを目的に研究発表会委員会が制定された。

この委員会において、研究発表会会長候補者選定手続きについての明文化が行われた。

平成8年度には研究発表会の年間開催回数を年1回へと変更するなどの取り決めを行った。

平成9年度には学術集会運営が円滑に行われるよう、会長間の申し送り事項を明文化したマニュアルを小冊子として作成した。

平成10年度より研究発表会が学術集会と改名されたのを契機に本委員会も学術集会委員会と改名された。

その後も将来視野で学術集会の在り方を考えて、その運営が円滑に行われるように随時、助言してきた。

平成22年度には、将来正会員として学会を支えるであろう人材の早期確保を目指して新たに「新人賞」の制度を設け、平成23年度より各地方会にて候補者の選考を行った。